



NO. 852
 発行
 2015年
 6月20日
 国鉄労働組合
 新潟地方本部
 発行責任者
 上石 昌彦
 編集責任者
 教 宣 部

大きな流れにしていこう

第9回組織強化・拡大 (東ブロック)経験交流集会



第9回組織強化・拡大(東ブロック)経験交流集会が5月31日〜6月1日に箱根湯本「箱根路・開雲」で開催され、全体で101名が参加しました。
 新潟地本から福富組織部長と藤井副委員長が参加、2日間の日程で各職場の活動報告など、交流を深めました。



14時開会、国労本部・小池執行委員の司会あいさつで「5月18日〜19日に西ブロックで開催し青年

が多く参加した。職場・地域の取り組みなど経験を交流し、明日から職場で発揮して欲しい。事故が多発している。安全問題と国労の運動をリンクして結合した闘いで職場で運動を進めて欲しい」とありました。

その後、国労本部・菊池書記長の主催者あいさつ、国労本部からの問題提起、特別報告のあと、分散会で各職場からの報告、意見が出されました。



国労本部 菊池書記長 あいさつ

5月、西ブロックで交流集会が大阪で開催され、本日、東ブロックでも開催。大きな流れをつくることを意思統一したが目標に達していない。多くの組合員が奮闘している中で拡大が進んでいる。その芽は職場で確実に広がっている。

ひとつ一つの取り組みが組合員の中で進んでいる。これまで関わりを持って進めてきた活動、努力の成果を交流して欲しい。本日も国労加入した仲間が参加し決意を発言する。

国労本部も大きな課題として、7月の全国大会まで集中してひとりでも多くの拡大を進めていく。あと1年間で大きな流れにしていくこと。拡大を自らが奮闘していくこと。大きな課題も結合して運動を進め取り組んでいこう。



自分で判断して 決めてた

●分散会での意見から●

分散会で各参加者から職場の活動報告や国労加入を決意した時の状況など発言されました。



○自分で判断して決めたので不安は無かった。実際にどうして脱退したのか貨物労組から話があったが、その後にも無い。その後、職場の人間関係は変わっていない。

○職場の悩みなど東労組へ相談したが話にあまりのつてくれなかった。国労は相談にのってくれた。その後、国労に加入した。

○国労に加入してから職場が変わったことは無い。職場の労働条件など問題に対して会社側へ指摘するようになったら、東労組の幹部の対応が変わってきた。敬語で話しかけるようになった。

○他労組の青年はスポーツなど参加している。国労の大会でも参加している。

○仕事以外で国労は相談にのってくれた。そのことが国労加入につながっていった。人間関係について、酒飲みだけでなく、職場内で信頼関係をつくっていく。

○他労組の青年などネットワークで情報を共有している。国労の活動に対して協力するなど指示があった。国労の運動に理解をしているがネットワーク関係で少し厳しくなった。



分散会での意見

矛盾を感じて 国労に加入した

○国労は労働組合として本来の姿だ。労働条件改善など運動を取り組んできたことは大きい。他労組は、組合員の不満があつて反対しても要求など上へ通らない。違和感がある。他労組は自分達だけのために活動をしている。矛盾を感じて国労に加入した。



○若手の悩みについて、酒飲みなどで相談し人間関係をつくっていく。国労の送別会に誘うと必ず参加する。国労の飲み会は話しやすい環境だ。

○新採者への組合説明会、職場説明会は地本と分会との連携を強化していく。地本が強力に実施することによって分会も活性化につながる。

○組合が分からない状況だったが貨物労組に加入させられた。職場でミスした時、国労組合員がすぐに相談にきた。事故について貨物労組は話があつただけだった。

○契約社員、組合の加入呼びかけが無かった。国労から声をかけられた。旅行に誘われ、それが楽しかった。それが国労加入につながった。

○10年間、契約社員で41歳で社員となった。強制配転について反対を訴えていくため国労加入した。国労の先輩は職場の中心になっている。それを見て国労加入した。



今の決意を実践へ

交流集会では、分散会や特別発言など、多くの参加者から発言、決意活動報告などありました。

日程最後に、まとめとして田中副委員長からあいさつがありました。その中で、「今の決意を地元に戻っても持続して実践をお互いにやっていく。そして運動を総括して、次の運動に発展していくこと」。大事なことだと思いました。



国労本部 田中副委員長 あいさつ



最後にまとめとして、田中副委員長からあいさつがありました。

第9回組織強化・拡大経験交流集会は東西で開催し200名が参加した。多くの参加を目指し東西に分けて開催したがこの状況で良いのか、企画内容について検討していく。もっと良い方向で検討していく。

JRの職場の現状～会社の労務政策・労使協調の中で労働者の不満がある。非正規労働者（契約社員・パート）の労働環境が厳しくなっている。国労に対する期待がある。自信と確信を持つこと。国労の考え方を大胆に訴えていくことが重要だ。もっと広い範囲で国労との接触を待っている。

9回目の開催～開催することによって議論内容が変わってきた。いろんな形で変化がある。職場の組合説明会の開催・労務政策～質的に大きく変化している。それを具体的に変えていくこと。

高崎地本の継続的な活動に成果がある。具体的な目標を持つこと、それを達成していく。全力を挙げてがんばっていく。分会活動を改善し強化して実践していく。組織強化を拡大に結び付けてやる。

国労加入後、他労組から脅しや恫喝があつたが、それでも国労に加入した。それに、どう応えていくのか。青年に応えていくこと。同時に信頼できる先輩、仲間作りを大事にしていく。青年の国労加入後の国労運動を克服してやっていく。

現状、今の決意を地元に戻っても持続して、実践をお互いにやっていくこと。

そして、運動の総括をして次の運動に発展していくこと。来年、70周年、大きな流れにしていこう。



新潟では6月20日に、地本の組織強化・拡大経験交流集会を開催します。今回、秋田地本に要請をして交流を深めます。秋田の活動に学び、新潟でも大きな流れにしていきたいと考えています。



編集後記

6月に入り、関東甲信は梅雨に入りましたが。新潟は、まだ梅雨入りしていません。

梅雨の時期は、紫陽花の季節ですね。今回、本部の組織強化・拡大経験交流集会は、箱根湯本が会場でした。小田原から箱根登山鉄道に乗り換えて箱根へ向かいます。

時期になると沿線に紫陽花が咲いてとても綺麗です。車窓からすぐそばに咲いていて、美しい眺めを見ることが出来ます。

田上町の護摩堂山も紫陽花で有名です。

